

授業アップデート 【記入例】

氏名 []

校内研究の主題	自ら学び、考えを伝え合う児童の育成 ～児童の思考の流れを軸にした授業づくりを通して～
目指す児童生徒の姿	・めあてをもって学習する姿 ・書くことが好きな姿 ・よく考えて説明できる姿 ・自分から学ぼうとする姿
「共通実践」の方向性や内容	・児童の実態に即した課題設定・児童の学びの姿を的確に評価できる評価基準の作成

* 「共通実践」の方向性や内容を踏まえ、自分の授業の強みや課題を記入します。
* 校内研究を進める中で、記述内容が変化した場合は、日付を付けて追記します。

授業に関する自分の強み・課題
強み 1時間の学習の足跡が分かる板書 ICTの活用→導入時の1人1台端末の有効活用(10/13)
課題 話しすぎてしまう。 児童の疑問やつぶやきから授業を展開していくこと。(6/16)

日付	校内研究 授業実践	自分のめあて	学んだこと (児童生徒の様子・新たな知見など)	具体的に取り組むこと (時・場・方法など)	自己評価 (成果・進捗状況など)
4/14	校内研究会①	めあてをもつ	学ぶ	学んだことを生かす(実践する)	振り返る
5/26	授業研究会① 2年生の 授業研究会	・本時にせま ねらい 発問	・学びの足跡が分かる掲示 物が有効だと分かった。	・児童が「やりたい」「考 えたい」と思えるような課 題を設定し、評価や発問、展開が変 化した。	・学級の児童によってより 身近な課題や問題にするよ うに設定した。
6/16	授業研究会② 特別支援学級 の授業研究会	生かせる支援の 方法	が一目で分かるように示さ れているので、児童が安心 して学習に取り組めてい た。 ・児童の考えを基にした授 業展開にすることが大切で ある。	示物をつくる。 ・ゲーム性を取り入れなが ら、「やりたいくなる」場面 をつくる。 ・発問や指示、板書など、 無駄を省いて、シンプルに する。	単元計画書を作って掲示し た。 ・できるだけ自分の話す時 間・言葉を短くするように している。
7/20	授業づくり委 員会	・児童の意識の 流れと手立てを 大切にしたい	・学習内容の系統性 ・単元を通してどのよう な力を付けたいかを明確に することが大事だと分かっ た。	・「学習指導要領」や 「『指導と評価の一体化』 のための学習評価に関する 参考資料」を参考に単元を 構想する。	・これまでは曖昧なことも あったが、単元や本時で何 がどのようにできればよい のかを明確にして授業を考 えるようになった。
8/18	夏季校内研究 会	・調査問題や結 果の分析から、 日々の授業で大 切にするべきこ と	・児童になったつもりで解 くことで、つまずき・指導 する内容・手立て・適応問 題・授業の流れがイメージ できた。	・児童が解き方の説明をす る学習活動を授業の中に取り 入れる。	・説明をする学習活動を取り 入れるためには、学習課 題や発問をもっと吟味する 必要がある。
9/29	授業研究会③ 4年生の 授業研究会	・考えてみた くなる導入の工夫 ・ICTの効果 的な活用	・児童のつぶやきを拾うこ とで、本時で目指している 「自分なりに更に考える 姿」に迫ることができた。	・児童が困るであろうこと を予想して、手立てを考え ておく。 ・児童の考えを映して全体 で共有したい。	・児童のノートの写真を撮 り、学級全体に紹介するこ とを算数の学習でしてい る。他の教科の学習でも使 えそうだ。

全ての教職員がこのサイクルを意識して取り組んでいけるように、校内研究会等で定期的に記入する時間を設定します。ファイリングして職員室に設置したり、校内サーバ等を用いて共有したりすることで、学びが更に深まります。



今年度の取組を振り返って(児童生徒の変容・自分の学びや変容など)